

3 研究のまとめ

(1) 成果と課題

成果

- 算数科で目指す資質・能力を明確にして、今までの授業を振り返ることで、授業の課題や改善点を見だし、授業改善の手立てを取り入れた実践を続けていくことで、研究委員の先生の授業の質的改善を図っていくことができました。
- 日々の授業の質的改善を図り、児童に身に付けさせたい資質・能力を育むために、どのような授業をしていかなければならないのかを考えることができました。
- 授業の質的改善に役立つツールとして、「授業改善セット」を作成し、学期で1セットの活用ができるようにしました。また、その中で、授業に取り入れる手立ての具体例を紹介して、若手からベテランまで全ての先生方にとって質的改善に取り組みやすいものを提案することができました。

課題

- 実態調査で大きな変容が見られない部分もありました。児童に身に付けさせたい資質・能力を育むために、どのような質的改善の手立てを取り入れていけばより有効な指導になるかを明確にする必要があると考えます。
- 1年次の研究の課題として挙げていた「知識及び技能」の変容を分析するために、学習状況調査の「知識・理解」と「技能」に関する問題を使って、4月と11月に実態調査を取りました。その結果、変容は見られたものの、この方法が適切であったかが課題となりました。今後、文部科学省から評価の具体が明確に示されてから、分析するための方法を考えていく必要があると考えます。

(2) 終わりに

本研究委員会は、鹿島市立能古見小学校、神崎市立西郷小学校において公開授業研究会を開催し、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の質的改善の考え方を基にした授業を公開しました。両校には、公開授業研究会の場を提供していただいたことに感謝申し上げます。また、授業を参観された先生方には、貴重な御意見、御感想を頂きました。本当にありがとうございました。先生方から頂いた御意見、御感想は、今後の研究に生かして参ります。

研究スタッフ一同、本研究が、日々の授業に臨まれている先生方の一助になればと考えております。そして、児童の学びに還元していただければこれに勝る喜びはありません。

最後に、本研究に対し、御指導・御助言を頂きました佐賀大学大学院学校教育学研究科 米田重和准教授に深く感謝申し上げます。